

情勢報告

女性組織が大活躍!! ～全国農業担い手サミット地域交流会～



ナス産地のたたきは「ナスのたたき」よ

10月24日、奈半利町町民会館で全国農業担い手サミットinこうち芸東中芸地域交流会が開催され、県内外から136人が参加しました。情報交換会時のもてなし料理を管内の4地区の女性組織が担当し、「ナスのたたき」や「こけらずし」等19種類の料理を提供しました。

開催にあたって、農業改良普及課は、検討会や食品衛生講習会を開催して料理を提供する段取りをし、料理に関する資料を作成して県外の参加者に芸東・中芸地区の食文化や料理をPRしました。女性組織からは「食品衛生の研修を受けて、作るのに気を遣った。大量の料理で作るのが大変やったけど、喜んでもらえて良かった。」との意見がありました。

農業改良普及課は、今後も女性組織が行う郷土料理の伝承活動を支援します。

さあ収穫間近! ～芸東集出荷場千両部会～



わしんくより出来がえいの～!

センリョウの実が色付きはじめ、JA土佐あき芸東集出荷場千両部会が10月26日に現地検討会を開催し、部会員7人が参加しました。今作は台風の被害や長雨の影響から‘実落ち’がやや多いものの、平年並みの出荷が見込まれています。農業改良普及課室戸支所からは来作に向けての病害防除等について指導しました。

また11月3日にはJA会議室で部会員7人とともに園芸連、関西市場4社の代表が集まり、販売会議を開催しました。会では昨年の反省点や本年度の販売、さらには産地としての今後の方向性にまで踏み込んだ話題となり、本音の熱い議論が交わされ、生産者全員が身の引き締まる内容となりました。

農業改良普及課室戸支所は、今後もセンリョウの収量・品質向上に取り組むとともに、総合的な視点で産地の発展に取り組めます。

GAP の活用で「栽培の自己点検」を! ～芸東集出荷場営農相談日～



次は×を○に改善してみましょう!

10月31日、農業改良普及課とJA土佐あき営農指導課は、芸東集出荷場でナス生産者を対象に営農相談日を開催しました。

農業改良普及課は、出荷にきたナス生産者9人に、国のガイドラインに準拠したGAP（以下「準拠GAP」）の取り組みとチェックシートの付け方を指導しました。今回取り組みを始めた生産者からは「基本的にいつもやりよることばかりやね!」という声も挙がり、準拠GAPについての理解を深めることができました。

農業改良普及課は、JAや部会と連携しながら、準拠GAPの取り組みを推進します。

温度・湿度も改善して品質・収量を向上させよう ～安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会～



温度・湿度も大事ながや

10月27日、JA土佐あき安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会は、現地ほ場で現地検討会、安芸集出荷場で勉強会を開催し、部会員31人が出席しました。

農業改良普及課からは、今後発生が予想される「黒枯病」と「すずかび病」の防除対策について指導しました。また、農業技術センターからは、オランダを参考にした温度管理によって湿度環境が改善され、品質・収量が向上したことを報告しました。生産者からは、「クイックドロップの意図は？」、「温度管理の考え方が理解できた」、「既にオランダのやり方で管理している」などの質疑・意見等が出ていました。

農業改良普及課は、炭酸ガス施用だけでなく温度や湿度も含めた環境制御技術を普及し、ナスの品質・収量の向上に努めます。

女性生産者向け勉強会を開催しました！ ～安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会～



炭酸ガスの効果はどんなものかな？

10月30日、JA土佐あき安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会の女性生産者を対象に、現地検討会をJA出資法人アグリードほ場で、勉強会を安芸集出荷場会議室で開催し、10人が出席しました。

現地検討会では炭酸ガスの株元局所施用や試験栽培しているトマト台木に興味を示していました。

農業改良普及課は、厳寒期のナスの病虫害対策の指導や環境制御技術の基礎知識・増収効果について説明し、来年度が最後の年となる環境制御技術普及推進事業について周知しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、女性生産者を対象とした勉強会を開催し、栽培管理や病虫害防除についてのレベルアップを図ります。

病虫害対策はバッチリ！ ～芸東ピーマン・シシトウ部会現地検討会～



病虫害対策も出荷規格も
きっちり取り組みましょう！

10月31日、JA土佐あき芸東集出荷場研究会ピーマン・シシトウ部会が現地検討会・目ならし会を開催し、生産者7人が参加しました。

園芸連は果実規格について説明し、農業改良普及課室戸支所は他のピーマン産地で問題になっている「チャノキイロアザミウマ」と「うどんこ病」の防除を指導しました。

生産者からは「今年は定植期に粒剤・かん注処理をしたのでチャノキイロアザミウマは発生していない。うどんこ病は少し発生していて、被害が拡大するかもしれないので今後も薬剤を定期散布する。」といった声が聞かれ、防除対策の意識を高めることができました。

農業改良普及課は、今後も部会や個別巡回などを通じて、ピーマンの病虫害対策を指導し、収量・品質の向上を支援します。

関西の花屋にアタックチャンス!! ～若手トルコギキョウ生産者のPR活動～



うちらはまとまってアピールしよう

11月8日、安芸市と芸西村の若手トルコギキョウ生産者6人と「高知の花展示商談会」の出展に向けて話し合いました。

農業改良普及課からは、前回の話し合い時に生産者に共同出展を提案し、全員で共同出展することになったことから、今回は、出展方法や花材の発送等について検討し、商談会に向けて情報共有することができました。

農業改良普及課は、今後も若手トルコギキョウ生産者の活動を支援し、担い手の育成とトルコギキョウ産地の発展を推進します。

みんなのほ場を見に行こう!! ～若手トルコギキョウ生産者の現地検討会～



みんな、えい感じに出荷できそうやね

11月14日、安芸市と芸西村の若手トルコギキョウ生産者8人が現地検討会を開催し、お互いのほ場の状況を見比べて研鑽しました。

農業改良普及課は、新病害の「トルコギキョウ斑点病」の防除対策や品種の選定について指導しました。

生産者からは、「この品種は年内出荷向きやね」、「病気は定期的に予防散布せんといかんね～」といった声が聞かれ、トルコギキョウの栽培管理に理解を深めることができました。

農業改良普及課は、今後も若手トルコギキョウ生産者の栽培管理技術の向上を支援し、トルコギキョウ産地の発展を推進します。

次年度計画の策定に向けて! ～なはりの郷事業戦略個別策定～



1つずつ課題を解決していきましょう!

11月15日、奈半利町の一般社団法人なはりの郷（以下、(一社)なはりの郷）の事務所で、(一社)なはりの郷と関係機関が集まり、事業戦略の策定について協議しました。

まず、アドバイザーであるこうち企業支援センターから決算書分析の結果報告があり、今後の組織運営等への指導を受けました。次に、農業改良普及課から、農業生産部門の取り組み課題を踏まえて今後の対応策を指導しました。

(一社)なはりの郷からは「労力不足が課題であり、今後の対応策を検討しよう」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も、奈半利町内の農業を支え農業で稼ぐ仕組みづくりに向けて、(一社)なはりの郷の各種事業の実施について支援します。